

誰もが安全で快適に生活できる バリアフリーのまちづくりをめざして

令和6年度(第19回)

秋田県バリアフリー推進賞

表彰事例集

表彰式の様子(令和7年3月県庁にて)



美の国あきたネット

※本紙に掲載されている表彰の内容は、受賞当時のものです。

募集部門

●施設部門

高齢者や障害者をはじめ、だれもが利用しやすいように配慮された施設

●活動部門

①一般部門 ②ジュニア部門(高校生以下)

バリアフリーに関する普及啓発活動、高齢者や障害者等の社会参加の支援活動、安心して生活できるまちづくりの取組など

●製品開発部門

高齢者や障害者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための福祉用具の製品、試作品、改良品など

●バリアフリーマップ部門

①一般部門 ②ジュニア部門(高校生以下)

地域におけるバリアフリーマップの作成、利活用への取組

秋田県健康福祉部 障害福祉課



〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1番1号
TEL: 018-860-1331 FAX: 018-860-3866
E-mail: Shoufuku@pref.akita.lg.jp

※この事例集は、障害者優先調達推進法に基づき、障害者就労継続支援事業所で作成しました。

施設部門

「秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例」に規定する生活関連施設で、高齢者や障害者をはじめ、だれもが利用しやすいように配慮され、条例の整備基準に適合している施設が対象となります。

また、既存の施設については、上記の利用に供するための改善に積極的に取り組んでいると認められる生活関連施設が対象となります。

■ 生活関連施設とは

- ・不特定多数の方が利用する建築物（医療・集会・福祉・運動・文化・宿泊施設、物販店、飲食店、サービス業店舗など）、公共交通機関の施設、道路、公園路外駐車場など。

■ 留意点

- ・他の施設や団体のモデルとなるような創意工夫があること。
- ・充実した整備内容であり、他の施設・団体への普及が期待できること。

令和4年度(第17回)受賞 施設部門

秋田県信用組合土崎支店

所在地 秋田市土崎港南二丁目3-53

設置者 北林 貞男

設計者 有限会社村田弘設計事務所 村田 良太

人にやさしい金融機関をコンセプトに道路側に沿って設けた雁木（がんぎ）づくりの歩行者用通路を設置、駐車場には冬の凍結に備えて融雪設備が備えられ、車椅子での出入りもスムーズにできるよう設計されています。

令和4年度(第17回)受賞 施設部門

青荷山荘

所在地 仙北市田沢湖生保内下高野73-14

設置者 堀田 雅人

誰でも安心して泊まれる宿づくりを進め、1階客室を車椅子対応トイレ付きの和洋室に改装、併せて入口の段差をほとんど無くし、浴槽に手すりを設置するなど、工夫されています。

令和4年度(第17回)受賞 施設部門

株式会社プレステージ・インターナショナル 秋田BPOにかほキャンパス

所在地 にかほ市平沢字堺田84-1

設置者 玉上 進一

設計者 前田建設工業株式会社 伊藤 優

障害のある方の就労環境として優れており、カーポート付き車いす駐車場、従業員が働くスペースもバリアフリーとなっているなど、工夫が見られます。

令和6年度(第19回)受賞 施設部門

秋田大学医学部 保健学科棟

活動団体 国立大学法人 秋田大学

所在地 秋田市

障害のある学生や来学者にとって物理的なバリアがない環境作りや、学生が高齢者や障害者に対する住環境整備の知識や技術を学ぶために設備の充実を図りました。

とくに新設された多職種連携実習室は、天井走行リフターをはじめとする最新の福祉機器を導入し、学生だけでなく、地域の保健・医療・福祉の関係者や障害をもつ当事者の方々にも解放して住環境整備の参考にさせていただくことも目的としています。



玄関の段差に対応する段差解消機



車いす対応のキッチンと電動昇降棚



天井走行リフター

活動部門（一般部門、ジュニア部門（高校生以下））

バリアフリーに関する普及啓発活動、高齢者や障害者等の社会参加の活動支援、安心して生活できるまちづくりの取組などが対象となります。

なお、「一般部門」の応募については、2年以上の活動実績があり、応募時点においてもその活動を継続している必要があります。

■ 作成、活用例

- ・ バリアフリーに関する理解を深めるための普及啓発活動
- ・ 障害者等が安心して生活ができるまちづくり活動
- ・ 福祉体験を通じて感じた「心のバリアフリー」の体験発表会
- ・ ヘルプマーク、ヘルプカードの普及啓発活動
- ・ 小中高生や一般ボランティアによる車いす用駐車場等の塗装活動を通じたバリアフリーへの意識啓発
- ・ 美しい山の自然をだれとでも共に感じ楽しむことのできるユニバーサルフィールドとしての提供
- ・ 義足の体験や身体障害者との交流や講義を通じてユニバーサルデザインについて考える機会の提供 など

令和4年度(第17回)受賞 活動部門 ジュニア部門(高校生以下)

点字ブロックを多くの方々に知ってもらうための活動

活動団体 秋田県立視覚支援学校 児童生徒会

所在地 秋田市

点字ブロックの理解促進活動として、県内の駅構内やイベント会場にて、点字ブロックに関するアナウンス（録音）を行い、障害のある方と共に安全安心に暮らすことができる社会を願い、自発的に活動しています。

令和5年度(第18回)受賞 活動部門 ジュニア部門(高校生以下)

特別支援学校との交流を通じたものづくり活動

活動団体 秋田工業高等学校メカクラブ部

所在地 秋田市

特別支援学校との交流を通じて、依頼を受けた日常に役立つ道具の開発や修理を行っています。依頼された道具は、生徒たちがものづくりのアイデアを出し合い、試行錯誤を繰り返しながら制作活動を行っており、支援学校との交流による学びを通じて、地域や社会への貢献へと繋がる意識啓発となっています。



書見台制作中のクラブ生たち



作成中の書見台と使用の一例



製品開発部門

高齢者や障害者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための独創的な作品等。

応募作品は実物作品とし、製品、試作品、改良品等の別は問いませんが、他者の知的所有権を侵害しないものに限りです。

■ 作成、活用例

- ・ 自助具、福祉用具等の制作、福祉用具等の統一規格の策定 など。

バリアフリーマップ部門（一般部門、ジュニア部門(高校生以下)）

地域におけるバリアフリーマップの作成の取組が対象となります。ただし、作成したマップの配付、ホームページへの掲載等、積極的に利活用を行っている場合に限りです。

■ 作成、活用例

- ・車いす使用者でも利用できる地域の施設やトイレ等について、障害者と共同してバリアフリーマップを作成 など。

令和6年度(第19回)受賞 バリアフリーマップ部門 一般部門

うちわ型のバリアフリーマップの作成及び啓発活動

活動団体 大館市障害者自立・差別解消支援協議会

所在地 大館市

障害があっても外出しやすく、見て楽しめる“うちわ型”マップを作成しました。

6種類のうちわを合わせると、1つの大きな地図になります。大館市中心部の道路、お昼時に営業している飲食店等のバリアフリー情報が記載されています。障害のある当事者の意見を盛り込みながら、市内高等学校美術部員の協力のもと作成を行いました。街歩き点検や制作活動を通じて、障害者理解や心のバリアフリーへ繋がる意識啓発となっています。



街歩き点検



啓発活動展示1



啓発活動展示2

バリアフリー推進賞について

【表彰対象について】

県内において、バリアフリーに関する施設の整備、製品の開発及び推進・普及のための活動等について、①施設部門、②活動部門、③製品開発部門、④バリアフリーマップ部門ごとに顕著な功績または功労のあった個人または団体とします。

ただし、国または県が行った事業や同一の功績により知事表彰を受けたものは除きます。

【推薦・応募方法について】

自薦・他薦を問わず、どなたでも応募することができます。

応募用紙に必要事項を記入し、必要な資料等を添付して「秋田県健康福祉部 障害福祉課」まで送付してください。

※提出された書類等は原則として返却できません。

応募期間や応募用紙、過去の表彰例については秋田県のホームページ「美の国あきたネット」で情報発信しています。

<https://www.pref.akita.lg.jp/> または 「秋田県 バリアフリー推進賞」で検索!!

【選考方法について】

秋田県バリアフリー社会形成審議会に設置されたバリアフリー推進賞選考委員会で、先駆的または広く普及するにふさわしいと認められる取組を選考し、選考結果を受けて知事が決定します。選考に当たっては、現地審査等を実施します。



秋田県では、誰もが安全で快適に生活できるバリアフリー社会づくりを県民一体となって進めるため、平成14年3月に「秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例」を制定しました。その一環として、バリアフリー社会づくりに積極的に取り組んでいる方を表彰し、広く県民の皆さまに知っていただくことによって、バリアフリーをより一層推進する目的で「秋田県バリアフリー推進賞」を実施しています。

皆さまからの応募をお待ちしています